アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ

No.137/2018 年 6 月

「アンテナ・伝播研究専門委員会からのお知らせ」第137号をお届けします.

【1】新任執行部メンバのご挨拶

1月(131号)にお知らせしましたように, AP研執行部は6月から新体制となり, 深沢幹事, 飴谷幹事補佐の2名が新たに執行部に加わりました. 新メンバからのご挨拶を紹介いたします.

深沢　徹　新幹事

『この度、幹事を拝命いたしました三菱電機の深沢です。50年以上の歴史のあるA・P研の幹事という重責を仰せつかり大変緊張しておりますが、これまでに研究会に参画されてきた会員の皆様や、運営に貢献されてきた顧問や歴代執行部の方々、広川委員長や山口副委員長、木村先任幹事からなる現執行部の方々等が長年築いてこられた研究会が少しでもよいものになるように微力を尽くす所存であります。下名は学生時代も含めると、1992年からアンテナのハードウェアの研究開発に携わってきましたが、近年この分野の発表件数が減少してきているという統計データが明らかとなり、少し寂しく感じております。無線があるところには必ずアンテナがあり、潜在的な要求としては増加傾向にあると考えられますので、研究会との橋渡しをすることで当該分野を盛り上げていければと思います。運営面には不慣れなこともあり、ご迷惑をおかけすることも多いかと思いますが、精一杯精進いたしますので皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。』

飴谷　充隆　新幹事補佐

『6月よりAP研幹事補佐に就任することになりました産業技術総合研究所の飴谷です。過去の記録を調べると、私がAP研で初めて発表したのは2006年1月の福岡工業大学でしたので、およそ12年前となります。その後３回ほど発表させていただき、2008年に無事に北海道大学にて博士号を取得できましたが、産総研に就職した後は、あまりAP研で発表する機会はなかったので、AP研幹事補佐にご指名いただいたときには、私にそのような任務が務まるかと不安がありました（今でも不安です…）。

AP研は学生時代の自分を育てていただいた親のような存在だと感じています。これまではあまり貢献出来ておりませんでしたが、これから2年間はこれまで貢献できていなかった分も含めて、親孝行できればと考えております。蛇足ですが、今年は質量標準の改定が行われ、世界の質量標準がキログラム原器から、$E=mc^2$と$E=h\nu$を使いプランク定数によって定義される値にかわります。$E=mc^2$によると質量とエネルギーは等価らしいので、たくさんもっている質量（2018年5月25日現在143.4kg）をAP研幹事補佐としてのエネルギーに変えられるよう精一杯幹事補佐業務に邁進したいと思います。至らない点も多々あるかと思いますが、ご指導のほど、よろしくお願いいたします。』

【2】手代木扶顧問・「WSに関する教育活動への貢献」で信学会業績賞受賞

手代木扶顧問が信学会2017年度業績賞を受賞されました. 伝統を引き継ぐものとして大変喜ばしく, かつ誇りに思います. おめでとうございます!!　以下に, ご挨拶を紹介いたします.

『AP研顧問の手代木扶です。お知らせを使わせていただいて皆様にご報告とお礼を申し上げます。

６月７日の電子情報通信学会総会の場で私は「アンテナ・伝搬における設計・解析手法に関する教育活動への貢献」というタイトルで業績賞を受賞しました。私がこのワークショップ（以下ＡＰ研ＷＳ）を始めたのは今から24年も昔のことであり、しかも受賞が教育への貢献ということで、大学の先生でもない私は大変驚きました。まさに青天のへきれきです。

このＡＰ研ＷＳの本当の価値は四半世紀近く継続してきた所にあると思います。これまでに再開催を含め約８０回のＷＳが開かれ、延べ５千名以上の人々が受講しました。これによってこれまでAP研と関わりを持たなかった多くの学生や企業の技術者が研究会等で発表をするようになりました。その意味で今回の業績賞は本来AP研がもらうものだと思います。厳密な学会の選奨規定はわかりませんが、研究専門委員会は業績賞をもらうことができないので、私がAP研を代表していただいたものだと受け止めています。

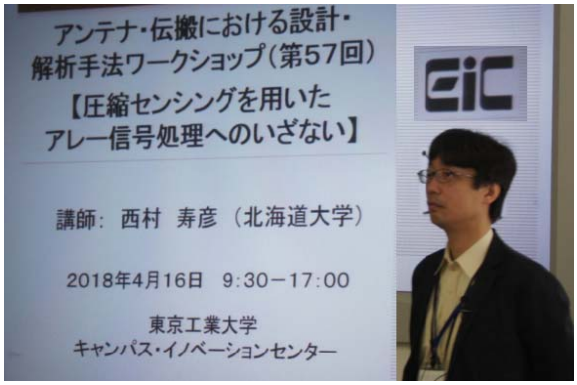
24年前私が委員長になった頃のAP研は伝統のある立派な研究会ではありましたが、ややサロン化しているところがあると感じていました。サロンはその中にいる人にとっては心地がいいのですが、外部の人には敷居が高く入り込みにくいものです。新しい層、新しい人達が参入してこなければ研究会の発展はないと感じていました。新しい人達に入ってもらうためには、研究開発の実力を付けてAP研で堂々と研究発表してもらうのが一番だと思い、このWSを構想しました。ただ実効のあるWSにするのは工夫が必要でした。幹事さん達がそれに応え色々なアイディアを出してくれました。講義内容やテキストを検討するグループを作って講師に注文を出すことにしたのです。また事前にテキストを受講者に配り十分予習してWSに参加してもらうようにもしました。講師の方々も企画の趣旨を理解して面倒な要求に応えてくれました。このように受講者ファーストの立場を徹底したのが功を奏したと思っています。

最初は本WSがこんなに長く続くとは思っていませんでしたが、その後のAP研委員長さんや執行部の方々が努力され、四半世紀近く続いてきました。このお知らせを見ておられる方の中にも、講師としてあるいは運営側として尽力された方々が大勢おられることと思います。関わった全ての方々にお礼を申し上げると共に、本WSがこれからもAP分野の人材育成に大きな役割を果たしていくよう祈っております。』

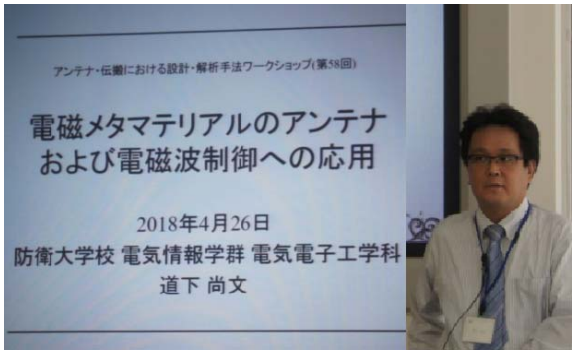
【3】4月一種研開催報告

4/19(木)・20(金)に，東京・八丈町商工会で開催されました．チュートリアル講演1件，一般講演11件，IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演1件の計13件の発表がありました．空港を取り囲むように街が形成されており，北側には八丈富士という立派な山がある自然豊かな島でした．チュートリアル講演では，コーディネータ自らの登壇で埼玉大の木村雄一先生に「マイクロストリップアンテナのマルチバンド設計と特性可変技術」というタイトルでご講演いただきました．講演に先立ち，「遥かなる八丈島への道」に関して詳細な解説をいただきました．絶海の孤島・八丈島と三宅島と船旅に関する蘊蓄をお聞きしました．完璧な下調べ，さすが，AP研幹事!! 立派です．来年5月の卒業研究会も楽しみにしております．IEEE AP-S Tokyo Chapter特別講演では，東京航空局の渋谷浩明氏に「航空保安業務と航空無線施設の概要」というタイトルでご講演いただきました．航空レーダなど多岐にわたる航空関連技術と八丈島空港の現状を解説いただきました．

【4】WS-57，WS-58開催報告



WS-57が満を持して開催(4/16(月)@東工大田町)されました．一般参加の方の比率が極めて高く，産業界の関心が高かったことを改めて感じました．受講者からの期待も高く活発な質問もありました．圧縮センシングへの「いざない」は達成されましたね．これを機に研究の裾野が広がることを期待しております．西村先生，お疲れ様でした!!!



引き続き，WS-58が開催(4/26(木)@東工大田町)されました．メタマテリアル関係はWS-38で榊原先生にご講演いただいています．今回は，これを踏まえたWSの位置づけも明確にしたうえで，技術の進歩・課題などを的確に整理し易しく解説いただきました．道下先生，ありがとうございます!!! WS-58では，要望が多く寄せられていたカラースライド配布のトライアルを実施しました．アンケートでは，半数の方は値段が高い!とのご意見でしたが，半数弱の方から購入いただきました．今後，WS常設委員会で議論して定着していきたいと思います．

両先生方・実行委員会の皆様，大変好評でしたので，再開催も是非よろしくお願いいたします．

【5】今後の一種研・二種研開催案内

次回7月の一種研は，三都物語札幌・北大で，SAT研・SANE研との併催です．いつものように大人気で3日間開催です．例年より，SAT研・SANE研の投稿が多かったようです．ご尽力，ありがとうございます．人生初の2月の札幌で自然の厳しさを身に染みて感じたのですが，夏の札幌はいいですね．皆様，ご参加をお待ちしております．8月は，竹村先生プレゼンツの日本工大・埼玉，9月は広川委員長プレゼンツの東工大(MW研併催)での開催です．二種研は，6月AMT研・東京，7月AWAP2018・タイです．ご期待ください．

【6】副委員長の戯言「伝搬のある風景」

今月号から，私が担当する戯言は後半戦です．アンテナ・伝播研究専門委員会ですので，後半のタイトルを「伝搬のある風景」にしました．残り12回，よろしくお願い致します．前回，2ページに収めると宣言したばかりですが，早速2ページ超となりました．前述のとおり，八丈島に初上陸しました．ここにはコンビニがありません．みずほ銀行浜松町支店八丈島特別出張所がありましたが，最強は郵便局(ゆうちょ銀行)でした．新入社員当時のスキー三昧の時代にも最強カードは当時の郵貯カードだったのを思い出しました．今回は，たまたま現金を持参していてよかった，とほっとしました．3月のお知らせ(133号)で，竹芝から船でも渡航できますと案内していましたが，何と，いました．実行した強者が・・・．【Q&A】問題です．竹芝航路便で今回発生した事象は何でしょうか？ ①間違って小笠原便に乗ってしまった，②海が荒れていて港に着岸できずに三宅島に引き返した，③船に乗り損なったため飛行機に変更したが霧のため引き返した．(前回の答え．信学会の新年度体制の切替日は，③社員総会日(今年は6/7(木))，です．

〈問い合わせ先〉

アンテナ・伝播研究専門委員会副委員長　山口 良（ソフトバンク）
E-mail：ap_ac-chair@mail.ieice.org (AP研執行部のメールアドレス)
AP-NET：AP研の最新情報を毎月メールにてお届けします!! 登録はAP研HPにて
AP研HP：http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/